

社会調査に役立つ統計分析：SPSSワークショップ

2022年3月7日（月）、8日（火）、9日（水）、10日（木）講師：金明中先生（ニッセイ基礎研究所）



現代女性キャリア研究所では、2012年から2019年まで、毎年学内の学生・教職員を対象として、「社会調査に役立つ統計分析：SPSSワークショップ」を開催していましたが、残念ながら昨年度及び一昨年度はコロナ禍により開催を見送りました。本年度は、参加可能人数を減らしたり、間仕切り（パーティション）を設置するなど、対策を十分に取しながら、メディアセンターのご協力も得て、開催いたしました。

講義では、SPSSの基本操作からデータの加工などの基礎知識、統計分析の理解からクロス集計、回帰分析等、基礎編と応用編2日ずつ、計4日にわたって実践的学習が行われました。

参加後のアンケートの満足度も高く、本年度も大変好評なワークショップとなりました。

RIWAC-DA

（リワック・データ・アーカイブ）

国際婦人年（1975年）以降に実施された、女性とキャリア（生き方）に関する社会調査を多数収集し、その詳細書誌データをデータベース化しネット上で公開しています。

レポートや論文作成、ゼミ報告などに、多様な社会調査をぜひご利用ください。

所蔵件数 1607件（2022年3月5日現在）
<http://search.riwac.jp/>

RIWAC資料室のご紹介



資料室にキャリアに関する文献を多数所蔵しています。閲覧をご希望の方は研究所へお問い合わせください。

『現代女性とキャリア』発行

年に一回、『現代女性とキャリア』を発行しています。論文のほか主催した講演会やシンポジウムの記録、研究所の事業活動に関する報告を収録しています。また、投稿論文も受け付けております。詳細はHPをご参照ください。本書をご希望の方は送料負担のみでお送りいたしますので、メールにて当研究所へお問い合わせください。



お願い

当研究所では、女性とキャリアに関する社会調査のデータアーカイブ(<http://search.riwac.jp/>)を公開しています。女性とキャリアに関する社会調査資料をお持ちの方は、ご協力お願いいたします。

News Letter

Research Institute for Women and Careers

RIWAC

日本女子大学

現代女性キャリア研究所

〒112-8681 東京都文京区白台2-8-1

TEL 03-5981-3380 FAX 03-5981-3381

E-mail riwac@fc.jwu.ac.jp URL <http://riwac.jp/>

日本女子大学現代女性キャリア研究所シンポジウム コロナ時代の女性の就労とリカレント教育

2021年12月18日(土)開催



中村天江
公益財団法人
連合総合生活開発研究所
主幹研究員



矢島洋子
三菱UFJリサーチ&
コンサルティング株式会社
執行役員
主席研究員



船越伴子
関西学院大学専門職大学院
経営戦略研究科 非常勤講師
株式会社ヒューマンラボ取締役



井田正道
明治大学
リベティアカデミー長
政治経済学部教授



加藤千恵
京都光華女子大学 副学長
女性キャリア開発
研究センター長

12月18日(土)にシンポジウム「コロナ時代の女性の就労とリカレント教育」を開催いたしました。今回は女性のリカレント教育に取り組む「リカレント教育推進協議会」主催、現代女性キャリア研究所共催として、大同生命保険株式会社様にもご支援いただきました。

シンポジウムでは、ウィズコロナの時代に女性が自身のライフステージをいかに切り開いていけばよいのかということを探るため、基調講演と多方面にわたるパネリストによるディスカッションが行われました。

まず、連合総研(公益財団法人連合総合生活開発研究所)主幹研究員の中村天江氏から「雇用流動化と働く人の「ボイス」と題して、自分らしく自律的にキャリアを築いていくためには、多岐にわたる労働条件などについて会社に自身の希望を伝えることが大切であるとのお話がありました。豊富な調査結果の分析を通して、諸外国と日本の状況との比較、個別交渉(i-deals)で希望が実現する可能性が高い労働条件などをご紹介いただきました。

続いて、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社執行役員矢島洋子氏からは、「ジェンダー平等の推進とリカレント教育」として、日本の女性労働に関する調査結果からライフステージに応じて変わる働き方、男

女の賃金格差、育児期の女性の育成などについてご説明いただきました。また、企業内でキャリアアップを支援する仕組みや必要性などについてもご紹介いただきました。

その後のパネルディスカッションでは、関西学院大学の船越伴子先生、明治大学の井田正道先生、京都光華女子大学の加藤千恵先生、日本女子大学の坂本清恵による4大学のリカレント教育の取組みのご報告を踏まえ、矢島洋子氏をコーディネーターとして5名のパネリストによる議論が行われました。今後も女性の就労支援ニーズに応えるため、各大学間の連携の方向性などについて検討がなされました。

参加者アンケートによると、シンポジウムはリカレント教育への理解を深める機会となるとともに、多くの方々にとって「自分のキャリアアップを考えるきっかけ」となったようです。また回答者の9割近くが「リカレント教育を受けたいと思った」としています。

今回のシンポジウムは、コロナ感染症対策によりウェビナーでの開催となりましたが、全国から約130名の方がご参加くださいました。年末のお忙しいなか、ご参加いただいた皆さま、関係者の皆さまに改めてお礼を申し上げます。



パネルディスカッション



研究会報告

未来を創る「主体的な学び」を実践する～Future Skills Project 研究会の挑戦～

講師：平山 恭子氏(一般社団法人Future Skills Project事務局長)

同団体では、学生の主体性を引き出すため、10年にわたり企業と大学による産学連携の課題解決型のキャリア教育を実施しており、授業・講座への参加を通じて、学生の大学における学びへの意欲や取り組み方が大きく変わることをご紹介いただきました。教職員との質疑応答も活発に行われ、教育のあり方を考える貴重な機会となりました。

2021年6月18日(金)開催

ダイバーシティ経営と人事管理

講師：武石 恵美子先生(法政大学教授)

企業でダイバーシティ経営が推進されるなか、職場に与える影響、従業員自律型のキャリア支援の仕組みなどについて、最近実施された個人向けと企業向けの2つのアンケート調査の分析結果をご紹介いただきました。質疑応答では日本型人事制度との関連なども議論され、多くの参加者と活発な意見交換が行われました。

2021年9月16日(木)開催

ハローワークから見た女性の中途採用について～マザーズハローワークおよび人材確保対策事業の取組～

講師：鈴木 玲子氏(東京労働局職業安定部職業安定課)

コロナ禍による雇用情勢の変化や、女性の中途採用に関する特徴、さらに人材確保支援対策事業の取組み等についてお話いただきました。また、池袋ハローワークの小泉統括及び田中事務官のご登壇もいただき、マザーズコーナーにおける職業相談状況や、オンライン化の取組み等についてご説明をいただきました。フロアとの意見交換では、特に、女性の中途採用や再就職などの様々な取組みが今後広まることが望まれるといった声が多くありました。

2021年10月29日(金)開催

平塚らいてうのまなざし

講師：倉田 宏子先生(日本女子大学名誉教授)

本学卒業生である平塚らいてうの軌跡をたどった後に、女性による初の文芸雑誌「青鞥」とその主張、成瀬仁蔵先生から受けた影響、母性保護論争や「新婦人協会」運動、戦後の平和運動に至るまで、らいてうの生涯にわたる女性の人格に関わる思想と運動についてお話をいただきました。フロアとの質疑応答では多くの意見や質問が寄せられ、活発な議論が交わされました。

2021年11月19日(金)開催

リカレント教育の現状

講師：乾 喜一郎氏(リカレント教育研究家)

社会人において、自発的学習者が少ない実態や、裾野を広げていくための実践的な事例を含めた取り組み等についてご講義いただきました。また、リカレント教育やリスキリングの定義等についてもご説明いただきました。フロアからの質疑応答も活発になされ、リカレント教育の今後のあり方に関する議論が展開されました。

2022年2月28日(月)開催